

	市町名	宇和島市		
	公民館名	和霊公民館		
		地区館		
	連絡先(Tel)	0895-22-0416		
ホームページアドレス				
事業分野	M 伝統・文化	事業名	和霊校区どんど焼き	
趣旨・目的	地域社会の協調と連帯を深め、古い行事の継承を行うとともに、無病息災、健全育成を願い、もって情操を育むことを目的とする。			
対象	和霊校区住民	参加人数	約400人	
<p>〈事業内容〉</p> <p>(1) 概要</p> <p>令和4年1月で35回目の実施となる「和霊校区どんど焼き」。35年前の自治会の役員の方々が再開させ、長年続いてきた「どんど焼き」を継承している行事です。地元の高齢者の方に、どのように実施していたか訪ね歩き、「どんど焼き」の中心にある神木は檜で、小豆がゆを食べていたことを教えていただきました。神木の檜の葉が焼ける「バリバリ」音が魔除けや厄払いに、また、小豆がゆの小豆についても赤い色の食べ物には邪気を払うという言い伝えがあるようです。現在は檜の確保や運搬が困難なために、竹で代用して実施しています。5年前の第30回の際には、30回記念として檜の神木が使われました。ふるまいものについては途中、小豆がゆ以外のものに変更されたこともありましたが、いくつかの変遷を経て、現在は小豆がゆのふるまいで実施されています。</p>				
<p>(2) 日程</p> <p>毎年、小正月頃に実施。 (以前は1月15日の成人の日に実施していた。)</p>				
<p>(3) 内容</p> <p>和霊地区に流れる「二級河川須賀川」の河川敷で、毎年小正月頃に実施。午前9時から近くの八幡神社の神主により厳かに神事が執り行われています。例年は、運営審議委員、愛護会のお母さんたちによる小豆がゆ400食を住民の方々にふるまっています。令和2、3年度はコロナ禍で小豆がゆは中止となり、例年のような住民の皆さんの交流は残念ながら叶いませんでした。</p>				
				
		【神事の様子】		
				
		【無病息災の祈りを込めた炎】		